

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2011-64379(P2011-64379A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-214547(P2009-214547)

【国際特許分類】

F 28 F 9/02 (2006.01)

B 60 H 1/32 (2006.01)

【F I】

F 28 F 9/02 301A

B 60 H 1/32 613D

F 28 F 9/02 301E

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

なお、以下の説明において、「アルミニウム」という用語には、純アルミニウムの他にアルミニウム合金を含むものとする。また、以下の説明において、図2の上下、左右を上下、左右というものとする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

図12に示すエバポレータの場合、第1ヘッダタンク(2)の右エンド部材(25)には、冷媒出入部材(5)に代えて、前後方向に長いアルミニウム製のジョイントプレート(110)がろう付されている。ジョイントプレート(110)には、右エンド部材(25)の冷媒入口(74)に通じる短円筒状冷媒流入口(111)および冷媒出口(75)に通じる短円筒状冷媒流出口(112)が形成されており、冷媒流入口(111)に冷媒入口管(図示略)が接続され、冷媒流出口(112)に冷媒出口管(図示略)が接続されるようになっている。なお、ジョイントプレート(110)は、アルミニウムベア材にプレス加工を施すことにより形成されている。図示は省略したが、冷媒入口管および冷媒出口管の他端部には、両管に跨るように膨張弁取付部材が接合されている。